

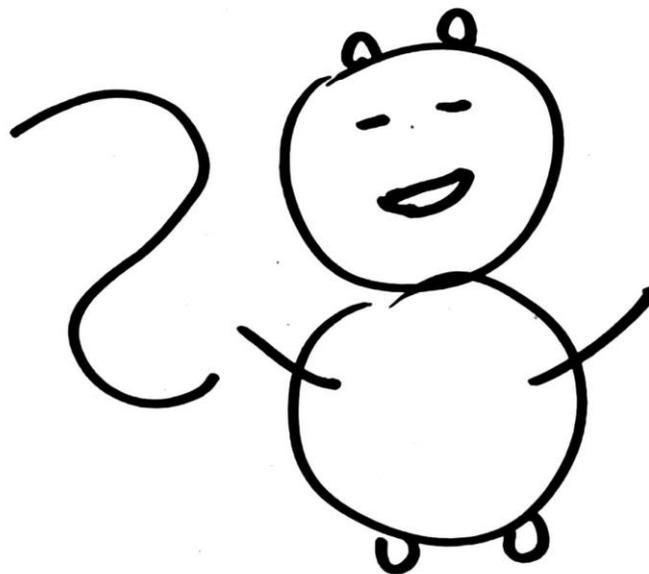
# 浜通り地区環境放射能研修 成果発表会

## ～ 伝えることについて考える ～

飯館村 B 班 \* 水野 唯衣, 佐野 穂奈美, 柏 幸輔, 清水 優伸, 大山 秋音

# 目次

1. 何を特に伝える？
2. 誰に
3. どのような反応が想定されるか
4. 大切にしたいこと
5. まとめ



# 1. 何を特に伝える？

## プラス

- 人との交流や色々な知識を得ることができて**楽しかった**
- 貴重な体験をすることができた (IF など)
- 想像以上に**回復**していた

## マイナス

- 景色が綺麗な中、中間貯蔵施設があるという**違和感**
- まだまだ復興**していない**
- 歴史の一つではなく、**今の問題**であるということ
  
- 安全だから一度来て (実際に見ると違うよ～)

## 2. 誰に

- 身近な人  
ex) 家族、友人など
- その中でも 2 通り考えた  
→ 興味を持ってくれる人、興味を持たない人

## 2. 誰に

- 身近な人  
ex) 家族、友人など
- その中でも 2 通り考えた  
→ 興味を持ってくれる人、興味を持たない人

なぜ、2通り考えたのか

→ IF で汚染水の話聞いた際、  
そもそも存在が受け入れられないという意見があったため

### 3. どのような反応が想定されるか

#### 【興味がある身近な人】

→ 来たい、知りたいと思ってもらえるように話す

メディアなどではなく、私たちが伝えたほうが、  
伝わりやすく、能動的に聞いてもらえるのでは？

私の例) 「行っても大丈夫だと思った」  
「今の現状を知る機会ができて良かった」

#### 【興味が湧かない身近な人】

→ まずはシンプルに楽しかったことを伝える

旅行に行ってきた土産話のように**楽しかった出来事**を  
伝えることで、意識を向けさせる

## 4. 大切にしたいこと

IFで汚染水の話聞いた際、そもそも存在が受け入れられないという意見があった。

→ **相手に合わせた方法で伝える必要がある**

【想い】「安心」を伝えやすい。

自分の感じたことや被災者の想いなどを伝える

※主観なので、大勢に伝えることが難しく、共感されなかったら伝わりにくい。

【データ】「安全」を伝えやすい。

科学的根拠を用いつつ、基準値や測定値などを伝える

※伝達者の知識量や基準値の考え方の視点も必要

→ **想いとデータを組み合わせながら伝える**

# 伝えない方がいい...？

誤解を生む、負のイメージがつく...など

...伝え方が悪いのでは？

- 教訓として  
悲劇を二度と繰り返さない
- 1つの福島の出来事
- 私たちは「伝えたい・発信したい」
- 伝えないことは何も生まない



## 5. まとめ

- ・何を特に伝える？  
→プラスとマイナスの印象を**素直に**伝える
- ・誰に伝える？  
→興味のある身近な人、興味のない身近な人
- ・伝える上で大切にしたいこと  
→**相手に合わせた方法**で伝える  
→**想いとデータ**の比率を変えることで少しでも関心を持ってもらう

個人旅行等でも、私がしたような IF 見学や交流ができればよいのにな～